



育連だより



<https://web-k.jp/ikuren/new/>

八ヶ岳事前研修はマリエンで

幸区子ども会連合会 土屋 佐由美

幸区恒例のマリエン宿泊研修は7月19日、20日の二日間に行われました。天気には恵まれましたが、暑すぎて外での活動は最少として体育館や展望室で過ごしました。

この研修は川崎港振興協会様のバックアップあってのもので、マリエンを余すところなく使用させていただき、夕飯はバーベキュー広場でカレー作りを楽しみました。八ヶ岳の事前研修でもありますが、八ヶ岳ではできない具材やルーの違うカ

レーを班ごとに決めて調理スタート！できたカレーはとても美味しく、他の班と食べ比べをするのも楽しみの一つ。どの班も売れ行きが良く、鍋が空っぽになってしまいました。空に彩雲が現れ、何かの幸運の前触れでしょうか？夕方の空はとてもきれいで大人は空に見とれていましたが、研修生はまだ熱い砂のビーチバレーコートで元気よくボールや砂遊びに興じていました。



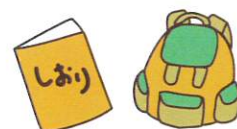
その後も体育館に移動してJLと楽しく遊び、全く持って疲れ知らずの研修生。

4階の研修室内に大きなテントを3つ建てて、研修生たちは楽しそうに場所とりをして寝る場所を確保。ちゃんと眠れたのでしょうか。

朝はカートンドックを作って食べ、その後八ヶ岳の事前研修で説明会と班や係決め、班の名前を

考えて終了。しおりの表紙にはイラストを描く宿題が出され、八ヶ岳でイラストコンテストを開催するのが幸区の決まりです。上手に描いたら景品もあります。

お昼はそうめんを食べて、盛りだくさんの楽しい研修も終わり、2日間お世話になったマリエンを後にしました。



第31回 ボルチモア川崎交流派遣・受入事業

日本ボーイスカウト川崎地区協議会 川崎第26団 地区国際委員会 濱 崎 空

1985年から続くボルチモア川崎スカウト交流は、今年で40周年を迎えました。今回は米国ボルチモア地区より、11名のスカウトと5名のリーダーを我々は迎えました。ボーイスカウトとガールスカウトのスカウト、リーダー、保護者の方々が力を合わせ、この40周年という記念すべき受け入れ事業を盛り上げ、今年も最高のおもてなしと交流を、実現することができました。

7月20日に行われたウェルカムパーティーでは、各テーブルに並べられた料理を和気あいあいと会話をして食事する中で、未来あふれるカブスカウトたちの演奏やソーラン節などの演目で、ボルチモアのスカウト、リーダーから笑顔を引き出すことができました！

特に、最後に行われたオリジナルソング「Pepsi Boys」と「Make a Peacefull Would」を歌うこの交流の先駆者でもある3人、長谷川博之氏、堂本暁生氏、濱田雅弘氏の姿には、この40年の歩みと歴史を感じると同時に感動を覚えました。

7月23日から24日にかけての富士登山では、前日までの天気予報により、若干の悪天候が心配されながらも、当日は無事天候に恵まれ、疲れたスカウトを別のスカウトが、時には励まし合い、時には荷物を代わりに背負い、一歩ずつ登っていく姿には確かなチームワークを感じることができました。

その後のFBCでは、BBQやキャンプファイヤーはもちろん、スイカ割りや書道体験など、日本のゲームをボルチモアのスカウト・リーダーに体験してもらい、大いに喜んでもらいました。

その後は殺陣や茶道など、日本の伝統的な文化を体験したり、バスツアーで鎌倉や横浜を観光したり、各家庭によってはみんなでカラオケに行き喉が枯れるまで歌い合ったり、ボウリングでスコアを競ったり、東京ディズニーランドに行き一日中夢の国を満喫したりと、ボルチモアから来てくれたスカウト・リーダーにとってまさに夢のような17日間になったことでしょう。私事の話になりますが、羽田空港にてボルチモアの親愛なる友たちとお別れする際に、「近い未来、自分が派遣隊長になって、活気と笑顔のあふれるスカウト・リーダー達と共にまた、ボルチモアに行こう。」と更に強く誓いました。



最後に、各団の実行委員の皆様、HFを申し出てくださいましたご父兄の皆様、ボーイスカウト川崎地区、ガールスカウト連絡会の皆様の多大なるご協力のもと、今回の交流を無事終了することができました。

皆様、本当にお疲れさまでした。

ガールスカウトの夏の活動【団キャンプ】

🍀 31団 八ヶ岳少年自然の家 🍀 8月2日(土)～4日(月)

ガールスカウト川崎市連絡会

- ・キャンドルファイヤーでブラウニーのお話をしたのが楽しかった。
(小2 大石珠理)
- ・キャンプではエアコンがなかったので、家に帰ったらさむかったです。
(小1 前田英菜里)
- ・アストロハウスで星をみれて、ちきゅうとたいようはそんなにちが
いがあるんだなーと思いました。(小3 蔵田愛美)
- ・キャンドルファイヤーのたん生日の歌で、くらいおへやでみんなと
おどったことです。わくわくしました。まだ頭の中に歌が残ってい
ます。(小3 秋葉理緒)
- ・みんなとカートドッグやスモアを食べておいしかった。次はテントの中
でねるのでこわいけれど、楽し
みです。(小3 鷲見薫)
- ・寝袋をたたむのがむずかしかった。テントで寝たら思ったよりかん
だんさがすごかったけど楽しかった。
たくさん動いたあのごはんはおいしかった。(小4 小口彩乃)
- ・富士山の上にレンズのような雲ができてきれいでした。はじめて
テントで寝て、さいしょはあつ
たけどあとから寒くなってび
っくりしました。夜ふかしが
楽しかった。(小4 堀実柚)
- ・テントをたたむのがとても大
変で、もう二度とやりたく
ないと思いました。テント
を立てるのはとてもう
まくきれいにできました。
(小6 根田希実)
- ・ごはんが全部おいしかったです。(雷で)テントで寝なかつたから
寝袋は残念でした。(小6 木幡璃南)
- ・そば打ち体験で包丁でそばを切る作業がおもしろかった。夜ふ
かしをして仲間たちと
もり上がりました。
テントを立てるのは時
間がかかったの
で、次のキャンプ
ではすばやく立
てて、ゆっくり
と過ごせるよう
にしたいです。
そのためには準
備をしておき
たいと思いま
した。(小5 根来愛梨)
- ・他の部門の子たちとも仲を深められたり、綺麗な星空を見れたり、
スイカ割りもしてとても楽しい3日間
でした。(中2 柴田靖凡)
- ・テントに泊まった翌朝の景色や、みんなで集まって食べた朝ご
飯は世界一でした。ア
ストロハウスで寝
転んで空を見て
いるのも心地よ
かったです。スカ
ウトやリーダー
との絆が深まった
楽しいキャンプ
でした。
(中2 和泉綾花)



🍀 40団 八ヶ岳少年自然の家 🍀 8月10日(日)～12日(火) ※32団との合同キャンプ

- ・今回の夏キャンプでの野外活動を通じて、自然を感じながらパトロール内での仲をさらに深めることが
できました。皆で役割分担して作ったほうとうやカレーも美味しかったです。悪天候で変更になるプログラ
ムもあったけれど、今できることを考えながら臨機応変に行動することができてよかったと思います。
(中1 山邊さくら)
- ・今回のキャンプでロープの色々な結び方を復習した時が印象に残りました。受験のため1年間ガールスカ
ウトをお休みしたら、ロープの色々な結び方をすっかり忘れていました。なのでまた復習の機会を作りた
いです。生憎の雨でアストロハウスで星を観察できなかったのは残念でしたが、今回のキャンプ、とても
楽しかったです。(中1 雲財悠)
- ・今回は雨の降っているキャンプでした。自分達で火を起こしてほうとうやカレー、カートン焼きそばなど
を作りました。カレー作りでは木が湿ってなかなか火が着かなくて苦労しました。みんなで協力して作っ
た料理はとても美味しかったです。室内での活動が多かったけど、40団のみんなと寝泊まりできてとても
楽しかったです。(小6 工藤葵)
- ・今回のキャンプでは、色々な物を作ったり、ゆったりしてあっという間に終わってしまいました。特に、
やさしい友達ができたり、自分たちが作った野外料理を食べたりするのが楽しかったです。でも、雨でア
ストロハウスから星が見れなかったり、テントをはれなかったのが残念でした。(小4 神田実心)



サマーキャンプ@岩手県・花巻市

川崎海洋少年団 福田 武雄

川崎市青少年地域間交流事業（サマーキャンプ）にて、岩手県花巻市に7月30日（水）～8月1日（金）の日程で、小学生16名、中学生8名、引率者6名の計30名で交流して来ました。

ふれあいサマーキャンプは、平成2年度（1990年）よりこの岩手県東和町（現：花巻市）コースから始まりました。東日本大震災により2年中止せざるを得ない年がありましたが、今年で33回目のふれあいサマーキャンプを実施致しました。このふれあいサマーキャンプには、これまで延べ1,420名の子どもたちが参加しています。

ふれあいサマーキャンプの開催地である旧東和町は平成18年（2006年）に花巻市、東和町、石鳥谷町、大迫町の4市町が合併して、人口89,912人（令和7年8月現在）の花巻市となりました。

ふれあいサマーキャンプは子どもたちが、豊かな自然や文化に触れ、地域の人との出会いや様々な体験を通して、成長していくことを支援しています。

一人ひとりの子どもたちの創造性、自主性、協調性を育てる事を大切にしている事業です。本年は、この花巻市のほか、和歌山県・古座川町、島根県・益田市、長野県・富士見町の計4市町で開催しました。



田瀬湖でカヌーを楽しむ子どもたち

令和7年度（2025年）
川崎市青少年地域間交流事業
（サマーキャンプ）実施箇所



市制101年記念の体験

高津区子ども会連合会 藤原 忠興

市制記念日である7月1日（火）は、川崎市内の学校が休みになるので、子ども会は毎年記念イベントを開催しています。

今年は高津警察署にお願いして【聞いて・見て・触って】の警察の業務を学ぶ体験会を開催しました。

当日は小学1年生から6年生までが参加。3グループに分かれ、警察の業務について署長以下多くの警察官から指導を受けました。

パトカー・白バイ乗車体験会では、子ども用制服を着せてもらい、制服警察官として親子で記念写真を撮っていました。

鑑識では、特別な薬剤を使い、自分の指紋を紙に写す貴重な業務を体験しました。その指紋を証拠としていただき、子ども達は大喜びしていました。

道場では逮捕術の実践で、警棒・ソフト竹刀での訓練が行われ、気合を入れて相手の武器を叩き落とす指導を受けました。子ども達の真剣なまなざしで取り組む姿に保護者も息を潜めて応援していました。

石橋会長は『子ども達が警察の大変な業務に接することができ、改めて体験会の意義を感じた』とコメントしました。



発行 川崎市青少年育成連盟
事務局 〒213-0001 高津区溝口1-6-10
生活文化会館（てくのかわさき）3階
TEL 044-811-2125 FAX 044-811-2126

青少年団体への加入申し込み、お問い合わせは、
川崎市青少年育成連盟事務局へ

印刷 有限会社 アキプリント社